



8月のほけんだより

令和6年7月31日発行
認定こども園どんぐり
看護師 大久保・古川

本格的な暑さとなってきましたね!! 急に暑くなってきたこの時期に熱中症になる人が急増します。野外ではもちろん室内でもこまめに水分補給をして、風通しを良くしたり、冷房や扇風機を活用したりして室内の温度を調整できると良いですね。

7月、園では手足口病とヘルパンギーナが流行していました。ヘルパンギーナは高熱が続く夏風邪で、喉の奥に小さな水疱ができて、痛くて食べられなくなることがあります。感染にご注意ください。

あせも

汗の出る穴が詰まり、皮膚の内側に汗が溜まって炎症が起こる症状で、細かく赤い発疹が出ます。綿などの吸湿性・通気性のある衣服を選んで、汗をかいたらこまめに拭き、衣服を着替えさせるのが一番の予防法です。子どもの爪は伸びやすく、引っ掻き傷から化膿し悪化しやすくなります。爪は短くしておきましょう。シャワー浴やスキンケアで治まることもありますが、痒みや赤みが強いとき、腫れがあるときは細菌感染が加わっている可能性がありますので、皮膚科を受診しましょう。



~お弁当箱・水筒の消毒について~

カビや細菌は、シメジメして蒸し暑い環境が大好きです。

お弁当箱や水筒の中で繁殖して食中毒や腹痛、アレルギーの原因になります。家に帰ったらすぐに洗い、中をよく乾燥させましょう。

パッキンもキレイに洗い、お弁当箱・水筒とともに定期的に消毒することも、おすすめします。



☆プライベートゾーンを学ぶ絵本の読み聞かせをしました☆

7月、森のようちえん各クラスに看護師がお邪魔し、プライベートゾーンを学ぶ絵本、「だいじだいじどこだ」（作：遠見才希子）の読み聞かせをさせて頂きました。体はどこも大事、なかでも特別大事なところがあるよ、おまた、おちんちん、おしり、おむね、おくちは特別大事。体の特別大事なところは、見るのも触るのも自分だけ、家族でも友達でも先生でもじろじろ見たり、勝手に触ったりしない、という内容の絵本です。真剣に聞いてくれた子供たち、色々意見も聞かせてくれました。そして、自分の体を大切にするためのお約束をお伝えしました。

- ① プライベートゾーンを人に見せたり、触らせたりしない
- ② 他の人のプライベートゾーンを、見たり触ったりしてはいけない
- ③ プライベートゾーンを見られたり触られそうになったら「嫌だ」と叫んで逃げよう

何かあったら周りの大人に相談するようにしてね、と伝えています。

プライベートゾーンを学ぶことは国で推進している命の安全教育の一環です。お子様の安全が守られるようにお家でもご指導をお勧めします(^ v ^)



